

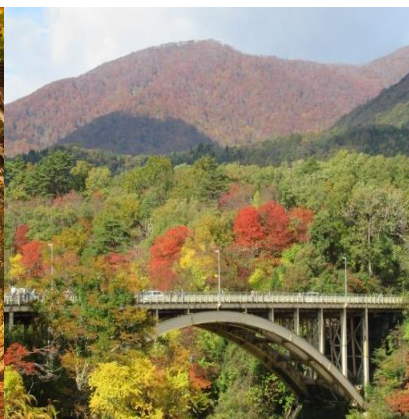
第3回 自然探訪教室 ご案内

期 日：10月19日（水曜日・小雨決行）
場 所：鳴子峡散策
講 師：花巻市生涯学習講師・福盛田弘氏
持ち物等：トレッキングにふさわしい靴及び服装、傘などの雨具、飲み物、昼食（レストハウスでの食事も可能）、おやつ、防寒具（寒い時）
参加費：無料
その他：バス利用は三密であることから、花巻市から抗原検査キットの提供を受けます。参加者には事前に説明書と検査キットを送付します。検温と合わせてご協力願います。
募集期間：10月5日（水）08：30～17：00
電話でお申込願います。
矢沢振興センター（☎23-2171）
募集人員：20名先着で締切といたします。

【当日の行程】（8時20分矢沢振興センター集合）
8：30 出発 ⇒ 花巻空港 IC ⇒ 9：40 古川 IC ⇒ 10：10 あ・ら・伊達な道の駅（トイレ休憩）10：30 出発 ⇒ 11：20 鳴子峡到着～大深沢橋側駐車場にて準備体操
大深沢遊歩道 散策開始（大深沢橋側入口～鳴子峡レストハウス入口へ）～中山平側入口～回顧橋にて折り返し～12：40 鳴子峡レストハウス駐車場着（昼食・休憩）
13：30 駐車場出発 ⇒ 14：25 道の駅おおさき（トイレ休憩）～14：45 出発 ⇒ 14：50 古川 IC～15：30 前沢 SA（トイレ休憩）⇒ 前沢 SA 出発 ⇒ 花巻空港 IC ⇒ 16：40 矢沢振興センター到着予定
※雨天の場合でも、傘をさしての散策ができます。なお、災害等で行程の変更の場合がありますので、ご了承ください。



遊歩道散策コース



大深沢橋を眺める

矢沢地区文化祭

11月12日（土）

《作品展示》9：00～16：00 講堂

11月13日（日）

《ステージ発表》10：00～12：00 大広間

※矢沢明老大学生は9：30までに受付してください。

《作品展示》9：00～16：00 講堂

□ 文化祭は、11月12日（土）、13日（日）の2日間、上記の日程で開催します。

□ 作品展示、ステージ発表共にコロナ禍で3年振りとなり、それぞれの思いを込めた発表となります。

□ コロナ感染対策を取らせて頂きます。

展示品を募集します！

文化祭 11月12（土）～13日（日）



あなたの作品をご披露してみませんか！

出展を希望される方は、矢沢振興センターにある「出展申込書」にご記入のうえ、
10月27日（木）までにお申し込み下さい。

たくさんの方
お申し込みを
お待ちしております
ます (^)o(^)
♪ # ♪



芸術の秋

《お問合せ》

矢沢地区文化祭実行委員会事務局
矢沢振興センター ☎ 23-2171

矢沢明老大学 10 月例会は移動研修です！

日 時：10月21日（金）
 研修先：遠野市
 参加費：2,500円（昼食代、入館料）
 申 込：

老人クラブ会員

各単位老人クラブ会長が希望者を取りまとめます。
一般受講生（振興センター 電話 23-2171）
 ご案内のハガキをお出しします。参加希望される方、直接矢沢振興センターへご連絡願います。
 ※ バス利用は三密であることから、花巻市から抗原検査キットの提供を受けます。参加者には事前に説明書と検査キットを送付します。検温と合わせてご協力願います。

《当日の行程》

9:00 矢沢振興センター ⇒ 東和 IC ⇒ 遠野 IC
 10:00 遠野市後方支援資料館見学 10:35 出発
 10:50 とおの物語の館（11時から昔話 20分）
 11:50 出発
 12:00 遠野市博物館見学 12:50 出発
 13:10 伝承館 昼食 ⇒ 徒歩常堅寺『カッパ淵』
 14:20 出発 ⇒ こども本の森遠野見学 ⇒ 卯子酉様 ⇒ 道の駅遠野「風の丘」 ⇒ 遠野 IC
 16:30 矢沢振興センター到着

「タウンやさわ」第39号発行にむけて！

9月12日、矢沢観光開発協議会（福盛田弘会長）は、今年度2回目の編集会議を開催し、第39号の2月発行に向け今後の進め方等を協議しました。地域の皆様には引き続き情報や資料の提供、寄稿のご協力をお願いいたします。また、矢沢の観光開発に関する意見交換も行いました。



移動図書館車巡回日程(ぎんが号)

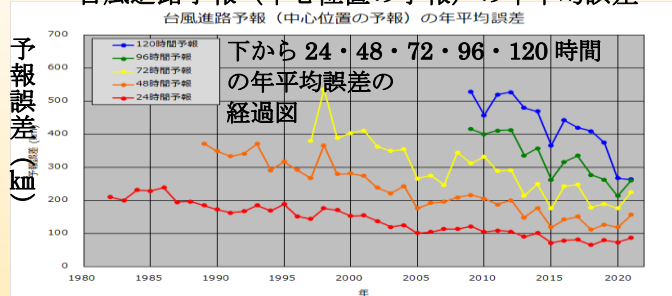
10/5 (水)	団地会館	13:30~13:50
10/12 (水)	高木観音	09:20~09:50
10/12 (水)	振興センター	10:05~10:35
10/12 (水)	やさわこども園	10:50~11:20

【事務局員のつぶやき】（台風のお話を少し！）

台風は下表のとおり8月、9月に発生数が多いですが、10月以降も油断は大敵です。台風の統計は1951年（昭和26年）からあり、下右図に71年間の経過を表しています。発生数は減少傾向を示していますが、接近、上陸数ともあまり変化は見られません。近年、台風第14号に見られるように地球温暖化の影響で海水温が上昇し台風は非常に発達・大型化しています。強風域の半径、最大風速で大きさ、強さが決まりますが、上陸時の中心気圧の低い台風の10位以内に2000年以降の台風は入っておらず、今でも一位は1961年（昭和36年）9月16日の室戸台風の925hPaです。

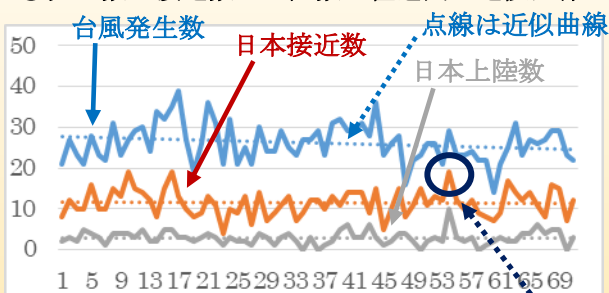
また、気象庁の発表する台風進路予報（中心位置の予報）の年平均誤差の経過は下左図のとおりです（気象庁提供）。予測精度は年々上昇していますが、ここ数年は伸び悩みとなっています。

台風進路予報（中心位置の予報）の年平均誤差



1982年—2021年の40年間

発生数・接近数・上陸数の経過図と近似曲線



1951-2021年の71年間

平成16年
上陸最多

台風の発生数・日本への接近数・日本への上陸数（1991-2020年の30年間の平均値）・10個

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
接近数				0.2	0.7	0.8	2.1	3.3	3.3	1.7	0.5	0.1	11.7
上陸数					0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3			3.0

発生：協定世界時基準（日本時間 09 時）

接近：台風の中心が気象官署から 300 km 以内に入った場合

上陸：台風の中心が北海道、本州、四国、九州のいずれかの海岸線に達した場合

上陸時の中心気圧の低い台風(ベスト3)

- 1 925 hPa 室戸岬 (1961・9・16)
- 2 929 hPa 潮岬 (1959・9・26)
- 3 930 hPa 薩摩半島 (1993・9・3)